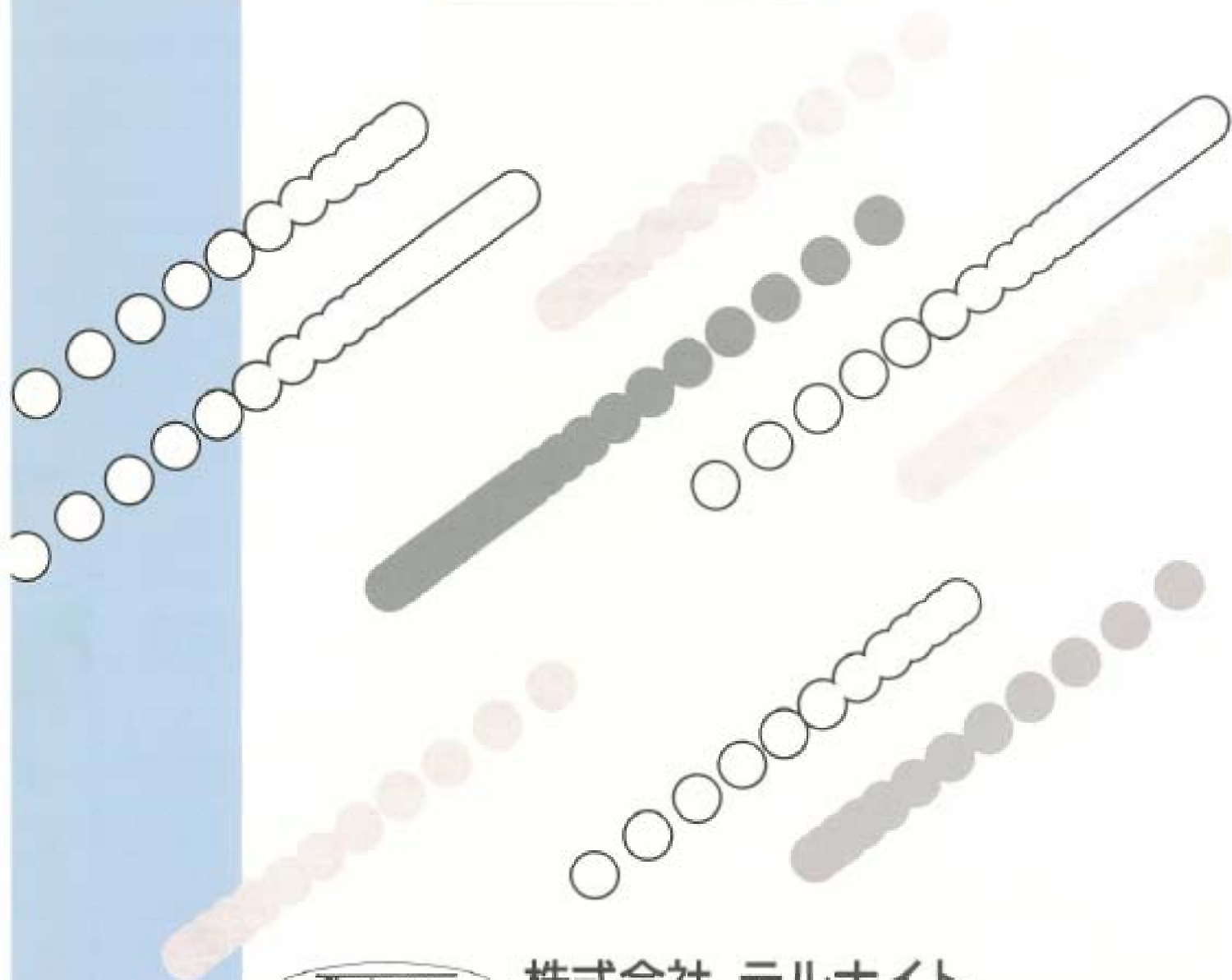


使用説明書

テルスター

安定液用防腐剤



株式会社 テルナイト

テルスター

1. はじめに

土木、建設の基礎工事用安定液構成材料のポリマーには、CMCが多用されております。

ところが、CMCは土壤中のバクテリアが出す酵素によってグリコシッド結合が切断され、その結果安定液の粘性低下、ろ水量の増加、pHの低下等の問題があります。

特に栄養源であるCMCが多量に存在する場合や温度の上昇、またpHが低下した時にはバクテリアの活動が盛んになり、計画した安定液性状の維持が困難になる場合があります。

「テルスター」は、バクテリアの繁殖防止と殺菌作用を目的とした安定液用防腐剤として開発されたものです。

2. 特徴

- 1.少量の添加で広範囲の細菌に有効であるため、優れた防腐効果を発揮します。
- 2.安定液に易溶性であるため作業性が向上します。
- 3.低刺激性であるため作業面での安全性が向上します。
- 4.塩基性対象物に使用できます。
- 5.金属に対し腐食の心配がありません。

3. 使用量の目安

標準使用量としては0.03%ですが、地層条件や施工時期によっては、総安定液量に対して、0.01%~0.05%添加してください。

4. 一般性状

外観……………淡黄色~黄色透明の液体

pH……………10.0~12.0

比重……………1.15~1.18

5. 防腐効果

1. 殺菌効果

(1) 試験試量

試料 No.	試料内容
1	ベントナイト 3%+テルセローズ 0.3%
2	試料No. 1+植種液 1%
3	試料No. 2+テルスター 0.03%

(2) 試験方法

各試料を恒温恒湿器（温度37℃、関係湿度100%）内に放置し、スタート時と1週間毎に3週間菌数測定を実施。

(3) 試験結果

試料 No.	スタート時	7日目	14日目	21日目
1	19×10^2	29×10^2	12×10^6	21×10^6
2	17×10^4	30×10^6	36×10^6	30×10^7
3	0	0	0	0

2. 安定液に対する変質防止効果

(1) 防腐剤の種類

- 他社製品A……………パラクロロメタキシレノール(白色微結晶)
- 他社製品B……………有機窒素系化合物(淡黄色液体)
- テルスター……………有機窒素系化合物(淡黄色液体)

(2) 安定液の配合

- ベントナイト…………… 3%
- テルセローズ…………… 0.3%
- 防腐剤……………0.03%
- 植種液…………… 1%

(3) 安定液の養生条件

- 養生温度……………37℃(密封養生)
- 養生期間……………1ヶ月間



6. 安全性

1. 毒性

(1) 急性経口毒性

LD₅₀: 940mg/kg (マウス)

(2) 魚毒性

TL_m(48時間): 88ppm (ヒメダカ)

2. 皮膚および眼粘膜刺激性

(1) 皮膚刺激(ウサギ)

20%水溶液の塗布例では、7日経過後においても刺激性は認められなかった。

原液塗布例では10分以内の水洗浄により、刺激性は認められなかった。

(2) 眼粘膜刺激(ウサギ)

0.15%水溶液点眼10日後においても何等異常は認められなかった。

防腐剤の効果(ファンネル粘度)

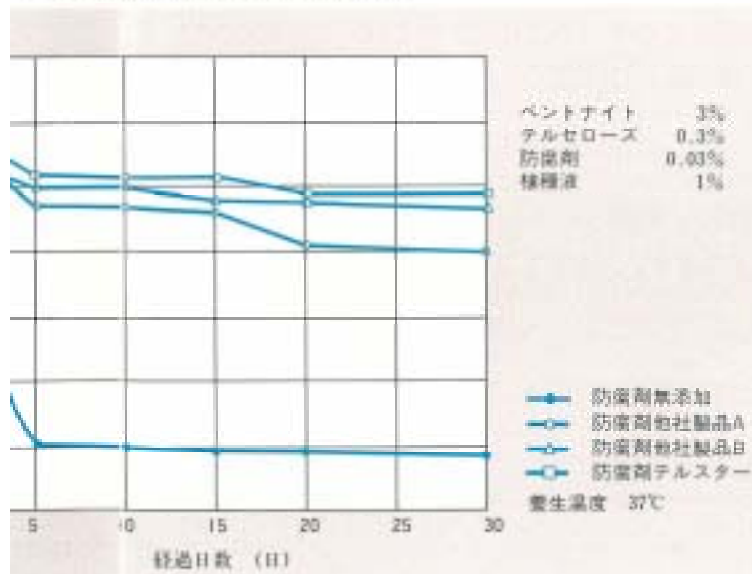
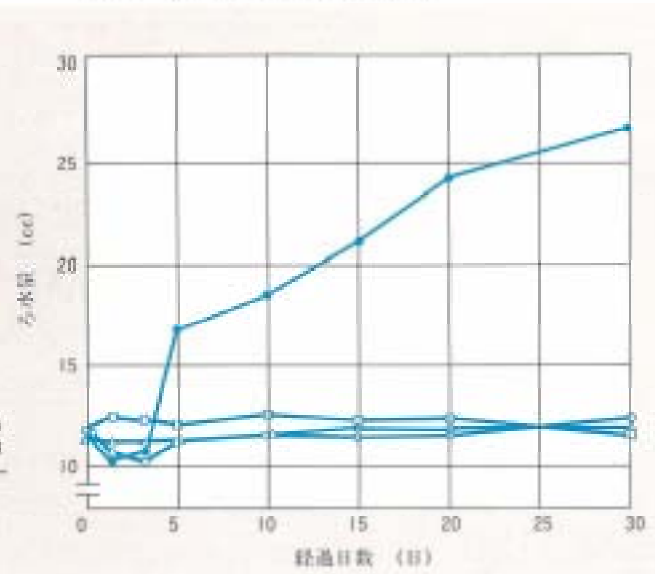


図-2 防腐剤の効果(ろ水量)



テルスター

7. 有害物質の 定量分析結果

計量証明書

第 005ADT0016-001 号
平成 35 年 07 月 22 日

発 行 者 株式会社 アルスター

日本食品分析センター
大阪事務所 大阪府吹田市新野 1 番 1 号
大阪府計量定規検査登録 表度 10047 号
環境計量士 藤 枝 秀 昭

当センターに輸入された次の試料の計量結果は、下記のとおりであることを証明します。

試 料 名 称 アルスター
試料輸入日 平成 35 年 07 月 22 日
試料採取時刻 平成 35 年 07 月 01 日 01 時 01 分
試料採取場所 _____
試料採取者氏名 _____ 所属 _____

記

計 量 の 対 象	計 量 の 結 果	計 量 の 方 法
アルキル水銀化合物	検出せず [※]	昭和60年国告第58号 付表 4
水銀又はその化合物	0.05mg/L以下	昭和60年国告第58号 付表 3
カドミウム又はその化合物	0.05mg/L以下	JIS K 0100 56.2
鉛又はその化合物	1 mg/L以下	JIS K 0100 54.2
有機鉛化合物	0.5 mg/L以下	昭和60年国告第58号 付表 1
六価クロム化合物	0.5 mg/L以下	JIS K 0100 45.2.1
ひ素又はその化合物	0.25mg/L以下	JIS K 0100 41.1
P.C.B	0.05 mg/L以下	昭和60年国告第58号 付表 5

産業廃棄物に含まれる重金属の検定方法「廃物の作成」(昭和64年国検庁告示第13号)による。

※ 検出限界：1.000mg/L

以 上

8. 取扱い上の 注意

1. 遮光した気密容器に貯え、直射日光を避け室温に保存する。
2. 原液が眼に入らないよう、取扱いに充分注意し、眼に入ったときは直ちに水洗すること。また、皮膚などに接触した際は直ちに流水で洗淨すること。
3. 通常の使用方法では毒性は低いが、誤飲などのないよう注意すること。
4. 廃棄処理については、水に流すことなく、できるだけ回収し焼却すること。

9. 包装形態

20kg石油缶

株式会社 テルナイト

- 本 社：東京都渋谷区幡ヶ谷1丁目7番5号
電 話 03 (3377) 932100
FAX 03 (3320) 8961
- 札幌営業所：札幌市白石区南郷通8丁目南5番1号
(第2タチカビル901号)
電 話 011 (864) 8787
- 仙台営業所：宮城県仙台市宮城野区宮城野1丁目11番12号
(メゾン宮城野103号)
電 話 022 (295) 0625
- 長岡営業所：新潟県長岡市三和3丁目8番地5
電 話 0258 (35) 7150
- 大阪営業所：大阪市淀川区三国本町2丁目1-37
(シャンホール第2新大阪ビル401号)
電 話 06 (397) 5249
- 酒田営業所：山形県酒田市大浜1丁目2番14号
電 話 0234 (33) 8811
- 酒田工場：電 話 0234 (33) 8811
- 技術研究所：電 話 0234 (33) 8815

代理店